

「人間発達の経済学」愛媛大学会議プログラム

主催：日本学術振興会アジア研究教育拠点事業

愛媛大学社会連携推進機構

基礎経済科学研究所

愛媛県自治体問題研究所

【第1日目 3月15日(土) 13時30分～16時30分 共通セッション】

テーマ「ドイツのエネルギー転換と再生可能エネルギーで村おこし」

ドイツでは2022年までにすべての原発を停止させるために、再生可能エネルギー生産の拡大に力を入れています。そして「100%再生可能エネルギーで村おこし」運動が全国で展開されています。3月に、その運動をリードするドイツ協同組合ライフアイゼン協会と農業者同盟から専門家を招いて、松山、京都、東京、福島で講演会やシンポジウムを開催することになりました。松山講演会のご案内をいたします。

【会場】愛媛大学総合情報メディアセン

ター・メディアホール

【講演】(通訳つき)

A・ヴィーク氏(ドイツ協同組合ライフアイゼン協会・エネルギー協同組合事務局長)

「ドイツのエネルギー転換とエネルギー協同組合」

M・ディーステル氏(バイエルン州農業者同盟郡事務局長、アグロクラフト社専務)

「F・W・ライフアイゼン・エネルギー協同組合で再生可能エネルギーによる村おこし」

司会:村田 武(愛媛大学社会連携推進機構客員教授)

コメント:和田 幸子(元・名古屋学院大学教授)

※共通セッション後、17時から法文学部中会議室にて懇親会を開催いたします。懇親会への参加を希望される方は、2月28日(金)までに事務局までご連絡ください。会費は当日徴収いたします(4000円、学生等2000円)。

【第2日目2014年3月16日(日)9時30分～12時30分 テーマ別分科会】

【会場】愛媛大学法文学部講義棟

▼「労働の理論と実態」

司会：中谷武雄(基礎研理事長・元京都橘大学)

佐中忠司(比治山大学・名)「人間的労働論に関する一提言」

高田好章(基礎研所員)「派遣労働の実態調査について―製造業務における請負と派遣・東大社研調査―」

高木和美(岐阜大学)「ドイツの高齢者看護師養成制度改革の現状」(仮)

▼「事業所の自主運営と産業・土地制度」

司会：角田修一(立命館大学)

篠原眞紀子(甲南女子大学・非)「福祉事業所における自主運営に関する一考察―岐阜県中津川市蛭川「ひなたぼっこ」の事例を通して―」

倪卉(京都大学・非)「広西における蚕糸業の持続的発展」

朱然(京都大学・院)「領主制と地主制」

▼「経済の理論」

司会：大西広(慶応義塾大学)

神谷章生(札幌学院大学)「UC パークレーにおけるマルクス主義社会科学のシンポジウム開催の経験と反省」

金江亮(京都大学・非)「新古典派モデルと地代論」

田添篤史(京都大学ジュニアリサーチャー)

「『日本の経営』における独占資本主義の必要性」

※報告者および報告タイトルは変更されることがあります。